

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 医生丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

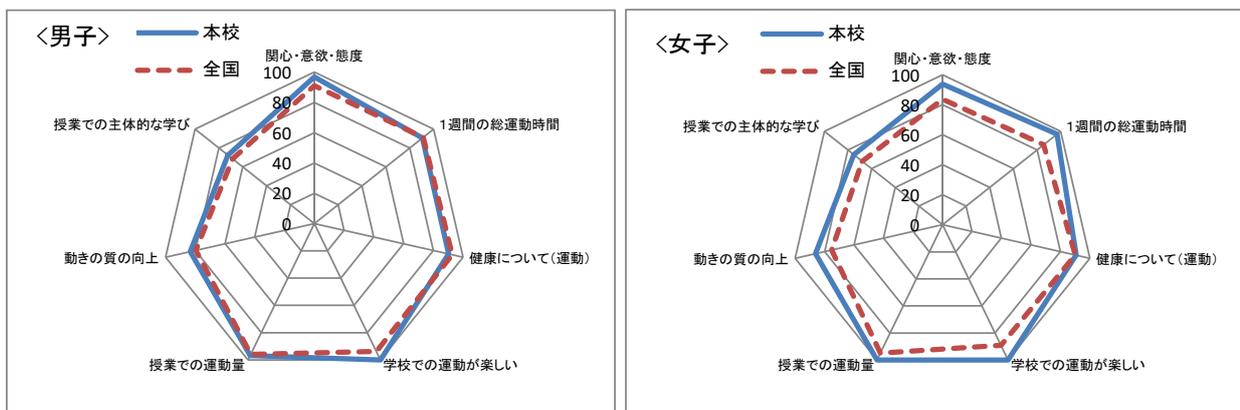
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

全国の結果と比較して、ほとんどの項目において肯定的な回答の割合が高い。特に、「運動やスポーツが好き」「体育の授業が楽しい(男女ともに100%が肯定)」と回答する児童が多く、その理由として、「運動する時間が多い」「自分の動きの質が向上している」を挙げている児童が多い。体育科授業づくりの成果が表れており、今後も継続して取り組む。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体力向上、運動習慣の確立を目指し、主題研究に位置付け、年間を通して研修に努める。
- 「体力向上を目指した準備運動」「自ら考える・話し合う活動」を重視した体育科授業づくりに取り組む。
- ICT機器の積極的な活用を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 家庭との連携を図り、日常的な運動習慣の確立を図る。
- 休み時間等の日常的に行える取組や、一校一取組(マラソンタイム)などの工夫を行う。
- 年間を通して、新体カテストに挑戦する機会を設ける。(体育委員会を中心として)